

丸つけ・直しまでやった場合は日付を記入。やれなかったものには×をつけよう。

基本メニュー (☆☆☆) 全員が必ずやるべきもの	日付
① 第35回 復習用 「速さ(3)」のスタンダード例題まで	
② 第35回 復習用 「速さ(3)」の基礎演習	
③ 第35回 復習用 「速さ(3)」の家庭学習用Aプリント	
④ 5年基礎力養成問題 10月号 日付にあわせて1日1ページ	

応用メニュー (☆☆) 余裕があればやるもの(Gクラスは必須)	日付
① 第35回 復習用 「速さ(3)」のハイレベル例題 (授業でハイレベル例題を扱った場合、その問題は☆☆☆)	
② 第35回 復習用 「速さ(3)」の家庭学習用Bプリント (授業でハイレベル例題をすべて扱った場合、☆☆☆)	
③ 第35回 復習用 「速さ(3)」の思考力養成問題 (授業で思考力養成問題を解いた場合は☆☆☆)	
④ Gラボ算数(入試問題に挑戦) 下記記載のQRコード記載の入試問題	

応用④は概ね今回の単元に対応しています。できれば問題を見たら再生を中断し、紙やノートに解いてから視聴してください。

入試問題動画QRコード



授業動画について

内部生限定で、5年生のレギュラー授業(授業回)の動画を、一定期間配信いたします。欠席時や、復習の際に分らなくなった場合、あるいはハイレベル例題を授業で扱わなかったけれどチャレンジしたい場合にご活用ください。本動画は、限定公開としておりますので、レギュラー生のみ利用できる点にご留意ください。

内部生用ページ(<https://labo-g.net/grade-2026>)からご視聴ください。

担当からの連絡

今回は通過算・時計算を扱いました。いずれも必要以上に難しく考えがちな単元ですが、原理は単純です。通過算は、以前習った旅人算の考え方に電車の長さが加わっただけのものです。まずは説明のページにあったような図を必ず描くようにしましょう。その際、黒ポッチを忘れないように！黒ポッチは(最後尾でも構いませんが)基本的には先頭にかくようにしてください。

時計算は多くの問題で答えが分数になるので、すごく難しく思えるかもしれません。しかし、「長針が短針を追いかける旅人算」と考えれば、やることは決まってきます。2つの針の距離(角度)、長針・短針の速さを調べればよいのです。長針の速さは1分間に6度、短針は1分間に0.5度ずつ進んでいることは、理由もあわせて理解しておきましょう。仕組みが分かれば、さほど難しくはありませんよね。

ただし、時計算の場合も必ず時計の図を描くようにしましょう。ある時間の角度を聞いている場合は聞かれている時間の時計の様子を、ある角度になる時間を聞いている場合は「～時00分」(ちょうど)の時計の様子を描くようにしましょう。